

項目2 未来を拓く学力 「授業づくり・家庭学習」

重点目標	○主体的・協働的に課題を追究する力 ○自分に応じた課題を選択し、やり遂げる力
数値目標	①授業を楽しみながら、進んで学習することができたと言える生徒を90%以上にする。 ②課題意識をもって宿題や自主学習に取り組むことができたと言える生徒を85%以上にする。

1 取り組み状況

I 単元構想と学びのゴールの共有、振り返りの活用

- ・授業で身につけたことや課題について考えたことなどを書く振り返りの時間を設定した。その振り返りから生徒のつまずきや課題を見取り、次の授業に生かすことができた。
- ・単元のはじめにその単元のゴールを生徒と共有し、単元の見通しを持たせて授業を進めようと努力できた。
- ・授業実践研究会において研究授業の指導案検討会および模擬授業を実施し、研修を深めた。
- ・指導主事訪問時の授業研究会におけるご指導を共有し、目標の達成のために生徒の意欲を意識した課題設定を各授業でいっそう工夫するよう心掛けた。

II 追究したくなるような課題設定

- ・生徒の振り返りを活かしたり資料から疑問を見つけさせたりするなど、生徒の意見を反映させた課題を設定するようにした。
- ・授業において、生徒同士の対話や共同作業など協働的な活動場面や、課題に対して自分なりの意見を発信するなど個別最適な活動場面において、ICTや学習支援ソフトを活用し、主体的に考えていく過程を重視した。
- ・授業中に取り組んだ課題を定期テストの問題に反映させた。
(6月、11月)



【学習支援ソフトを活用して意見を発信する場面】

III 授業改善に生かす評価

- ・プリントやノートに授業の振り返りを書き溜めさせることで、生徒一人一人の学びの状況を把握し、必要に応じて授業計画や指導方法を修正するなどした。
- ・単元テストやパフォーマンステスト、暗唱テスト、レポートなど、短いスパンで評価する機会を意図的に設け、生徒一人ひとりの定着度やつまずきの把握に努め、指導の個別化に生かした。
- ・部活動のない日の放課後や空き時間に教科会を開くなどして、同教科の教員同士による教科指導やテストに関する情報交換を進めた。また、互いに授業を見合う機会を設け、授業改善に努めた。
- ・全国学調の結果から、国語科、数学科、それぞれについての課題点と改善策を全体で共有した。また、全ての教科において指導と評価を一体化していく授業づくりが重要であることを確認しあった。

IV 自ら学びを進める家庭学習

- ・生活日記に、放課後の予定を立てる欄を用意し、帰りの会で記入させることで、家庭学習をどのように進めるか構想を練らせた。
- ・生徒一人一人が主体的に自主学習に取り組むツールとして、学習アプリ「スタディサプリ」を導入し、授業や宿題、自主学習に活用するよう推奨した。
- ・学習アプリの導入に際して、教員を対象に活用方法や実践例などについて学ぶ研修会を実施した。また、12月には学習アプリの活用状況を使用率や視聴時間などをもとに振り返り、学習アプリやICTを用いた実践について共有する場を設けた。
- ・毎週木曜日を「自主学習デー」とし、自主学習に取り組む時間を確保した。また、自主学習のめあてと振り返りを書かせることで、課題意識を持たせ、自主学習ノートや学習アプリなど学習方法を目的によって自由に選択できるようにした。
- ・2学期末までの学習アプリの活用実績をみると、生徒全体で動画視聴時間は累計280時間以上を記録している。動画を視聴するだけでなく、確認問題を解くなど、活用方法は各自で選んで取りまわせるようにした。単に生徒自身の学年における内容を学習するだけでなく、下学年の学習内容や受験対策講座な



【研修会でICTの実践を紹介し合う様子】

- ど、生徒が自らに合わせた講座を選択し、多い生徒で約 1900 講座(1 人平均約 250)を受講していた。
 ・学習委員会による全校集会の企画で、自分に合った学習方法を知る機会を設定した。(7月)

2 目標の達成状況

アンケート結果	① … A 47 B 42 (89) C 11 D 0 (%)	評価	B
	② … A 44 B 45 (89) C 11 D 0 (%)	評価	A
総合評価	B		
総 括			
<p>①に関して</p> <p>中間評価時と比べ、肯定的評価は 90%から 89%に低下し、わずかに数値目標を達成することができなかった。しかし、A 評価と答えた生徒は 44%から 47%に上昇した。</p> <p>課題設定の工夫や振り返りの活用などを通して、主体的に学びに取り組む姿勢を養い、協力や相談をしながら問題解決に取り組む姿勢を育むことができた。一方で、授業中にわからないところをそのままにしてしまう生徒や、進んで発表ができない生徒が見られた。「授業内容の理解」や「発表意欲の向上」などが課題として挙げられる。</p> <p>②に関して</p> <p>中間評価時と比べ、肯定的評価は 94%から 89%に低下し、A 評価と答えた生徒は 48%から 44%に低下したが、全体の数値目標(85%以上)は達成できた。</p> <p>学習アプリなどを活用することで、生徒は自主学習の習慣を身につけ、学習内容を深めることができた。一方で、宿題を丁寧に取り組めていない生徒が一部に見られるなど、「授業内容の理解」とともに「宿題や自主学習の取り組ませ方」「宿題や自主学習の質の向上」といった点にも課題が残った。</p> <p>総合評価は、学年間による格差や教職員・保護者の評価もふまえ、B とした。</p>			
改善策			
<p>①に関して</p> <p>授業内容の理解を深めるため、次のような取り組みを進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材や具体例、取り組みやすいゲームなどを用いて、難しい内容も理解できるように工夫する。 ・生徒が質問できる時間や、教師が個別指導を行える時間を授業中や休み時間などに確保する。 ・小テストやクイズを定期的実施し、生徒の理解度を確認しながら授業を進める。 ・生徒同士で意見交換を行いながら理解を深める活動を取り入れる。 <p>また、発表意欲を向上させていくためには、次のような取り組みを進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポジティブ教育なども取り入れながら、間違いを恐れずに発言できる雰囲気を作っていく。 ・大勢の前で発表するのが苦手な生徒には、少人数グループでの発表を経験させ、自信をつけさせる。 ・発表後には励ましのコメントを伝えるなど、成功体験を共有できるようにする。 ・授業や学校生活のあらゆる場面(集会、委員会など)で、生徒たちが発表できる機会を増やしていく。 <p>②に関して</p> <p>「宿題や自主学習の取り組ませ方」「宿題や自主学習の質の向上」の課題に対しては、次のような取り組みを進めることで克服していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題の目的や意義を再確認し、生徒が理解できるようにする。 ・宿題の量や内容を適切に調整するとともに、時間を有効に使う方法などを指導する。 ・生活日記などを用いて生徒に毎日の学習目標を設定させ、その達成度を定期的に確認し励ましや助言を行っていく。生徒集会等で予定の立て方を生徒自身に紹介させるなどしてよいモデルを示す。達成度を「見える化」することで、生徒のモチベーションを維持させていく。 ・生徒に様々な学習方法を提供し、自分に合った方法を見つけられるように支援する。(3学期には「私の学習方法」「私の受験体験記」など、生徒間で情報交換を行う場を設ける予定。) 			